

〈隷書〉

斜落
風日
寒澹
送含
一千
帆嶂
烟雪

清原大龍先生書

(この課題で書体は自由。但し、この課題は一人一点のみとする)

半折作品は各課題ごとに横／＼に一枚ずつたたんで提出ください。

〈楷書〉

斜落
風日
寒澹
送含
一千
帆嶂
烟雪

山本飛雲先生書

□ 落日澹は含む千嶂の雪
斜風寒は送る一帆の烟 (不詳)

次号予告「流花去難掬」

〈行書〉

井之上 南岳先生書



▽ 入る太陽は暗淡として千山の雪を含み、斜風は寒げに煙れる一片の帆を送るのである。

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

舟尾 圭碩先生書



□ 可さ、支のわ多たせる者しに、おく志もの、白きをみれ盤、よそ婦希尔遣る。 かささぎの 渡せる橋に おく霜の 白きを見れば 夜ぞふけにける

〈百人一首六〉

条幅随意（臨書）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点のみとする）

吉田成美先生臨

真卿竊聞軍容之為人
清修梵行深入佛海

▽争坐位文稿

真卿竊聞軍容之為人清修梵行深入佛海

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

吉田成堂先生書

うす紅く雪に流れて入日影曠野の汽車の窓を照せり

□石川啄木の詩

うす紅く雪に流れて入日影曠野の汽車の窓を照せり

《手本（課題例）にとられず意欲的な作品を期待します。》

半折作品は各課題ごとに横に一枚ずつたんで提出ください。

条幅 随意参考手本（半折 $\frac{1}{2}$ 横のみ） —12月28日締切—

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

《手本（課題例）にとらわれず意欲的な作品を期待します。》



小 畠 秋 聲 先 生 書

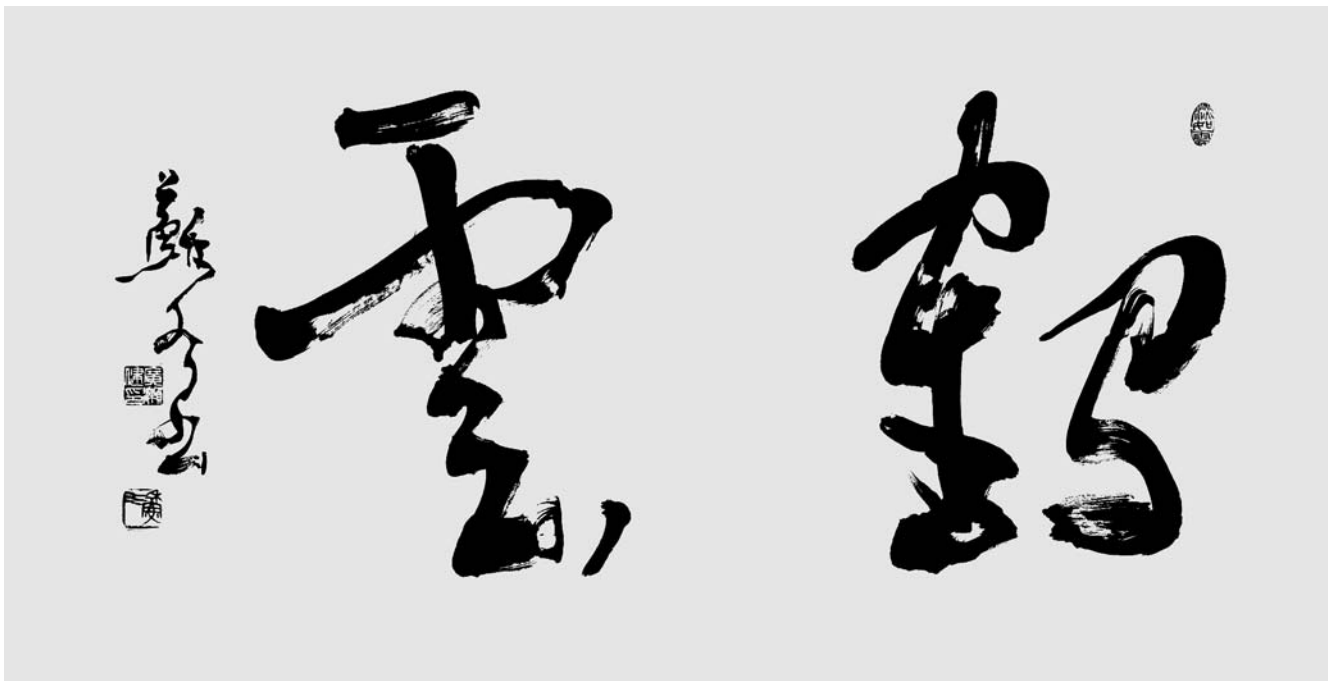
□ 他人を動かす

自分の一生懸命

「しんじてる。」

谷口達郎の詩

この一年の自分のモットーにしてきました。作品にすると難しかったのですが、最後の「一生懸命」の入れ方を皆さんも工夫して下さい。



廣 瀬 蘇 水 先 生 書

□ 鶴雲たづぐも

（李嘉裕）

白鶴に似たる雲。春分正陽に出ずという。長寿を表す鶴のように真っ白な雲が浮かぶようす。

鶴は多墨にして重厚にした。次第に速筆に。雲は墨を少なめにして躍動的にした。伝統的な印の使い方（三顆で一組）も学んでほしい。（印・吉野松石先生）

※半折 $\frac{1}{2}$ 横

の出品票

は作品の

左下に貼

って提出

下さい。

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)

□ 皎夜千樹は寒し (唐・李群玉)
月明かりの夜、千の木々が寒々としている。



次号予告「獨坐大雄峯」

吉田成美先生書

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)

□ 皎夜千樹は寒し (唐・李群玉)

月明かりの夜、千の木々が寒々としている。



次号予告「獨坐大雄峯」

吉田成美先生書

半紙随意参考手本 —12月28日締切—

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)



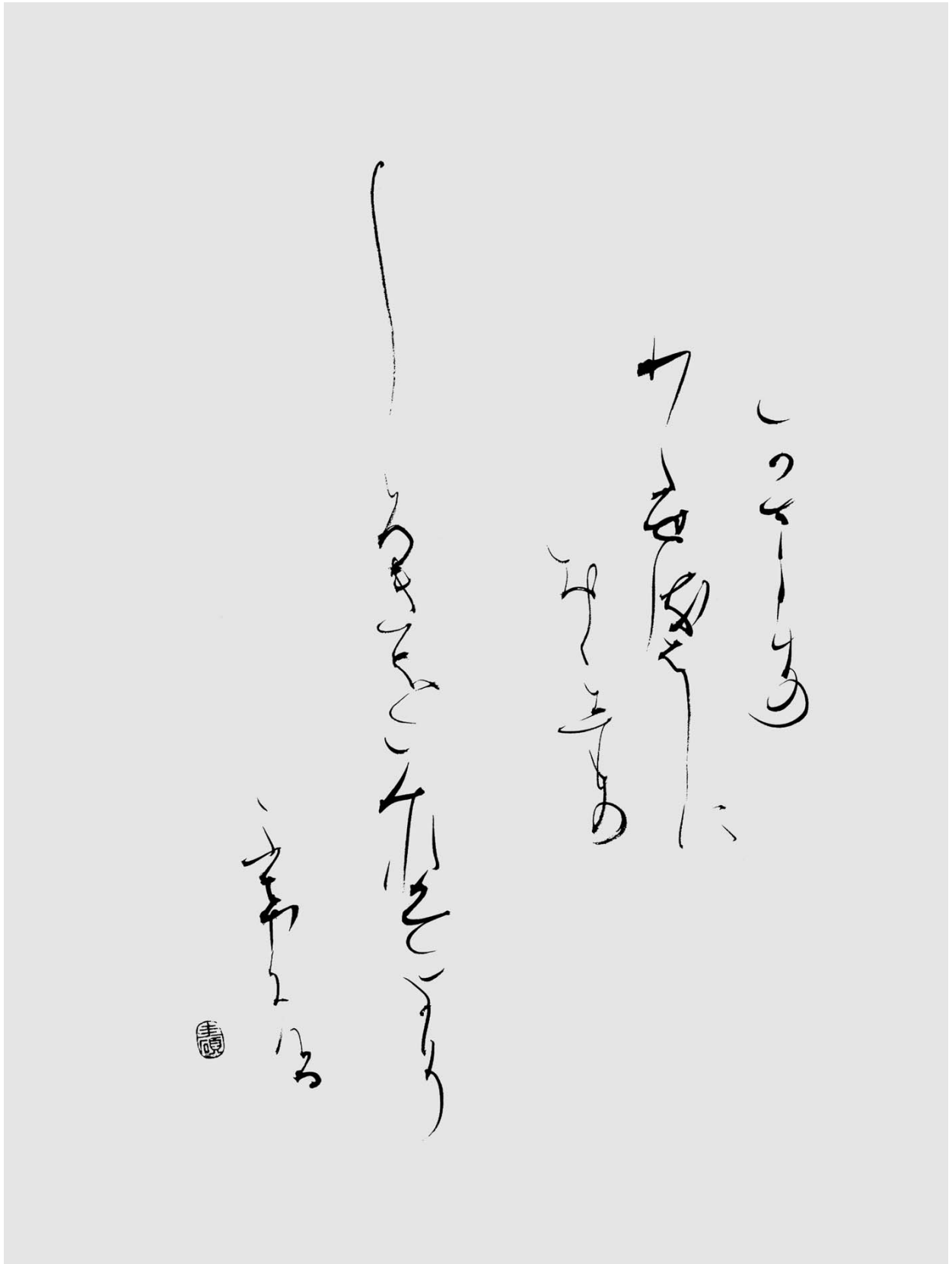
□ 萬 祥 万祥 (漢・王褒)
おおくの幸い。万善。

半紙随意参考手本 —12月28日締切—

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△仮名▽

かささぎの 渡せる橋に おく霜の 白きを見れば 夜ぞふけにける



□ 可^かさ、支^きの わ^た多^たせ流^る者^はしに お^く志^しもの し^ろき^をみ^れ盤^は よ^そふ^け希^に爾^け介^ける △百人一首六▽

舟尾圭碩先生書

半紙随意参考手本 —12月28日締切—

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

※出品券は、半紙をタテにした左下に貼って提出ください。(ヨコ作品の場合も半紙をタテにして同様に貼ってください)

△詩文書▽

落穂田に 遠出の鶴の 一家族

△満園真由美の句▽

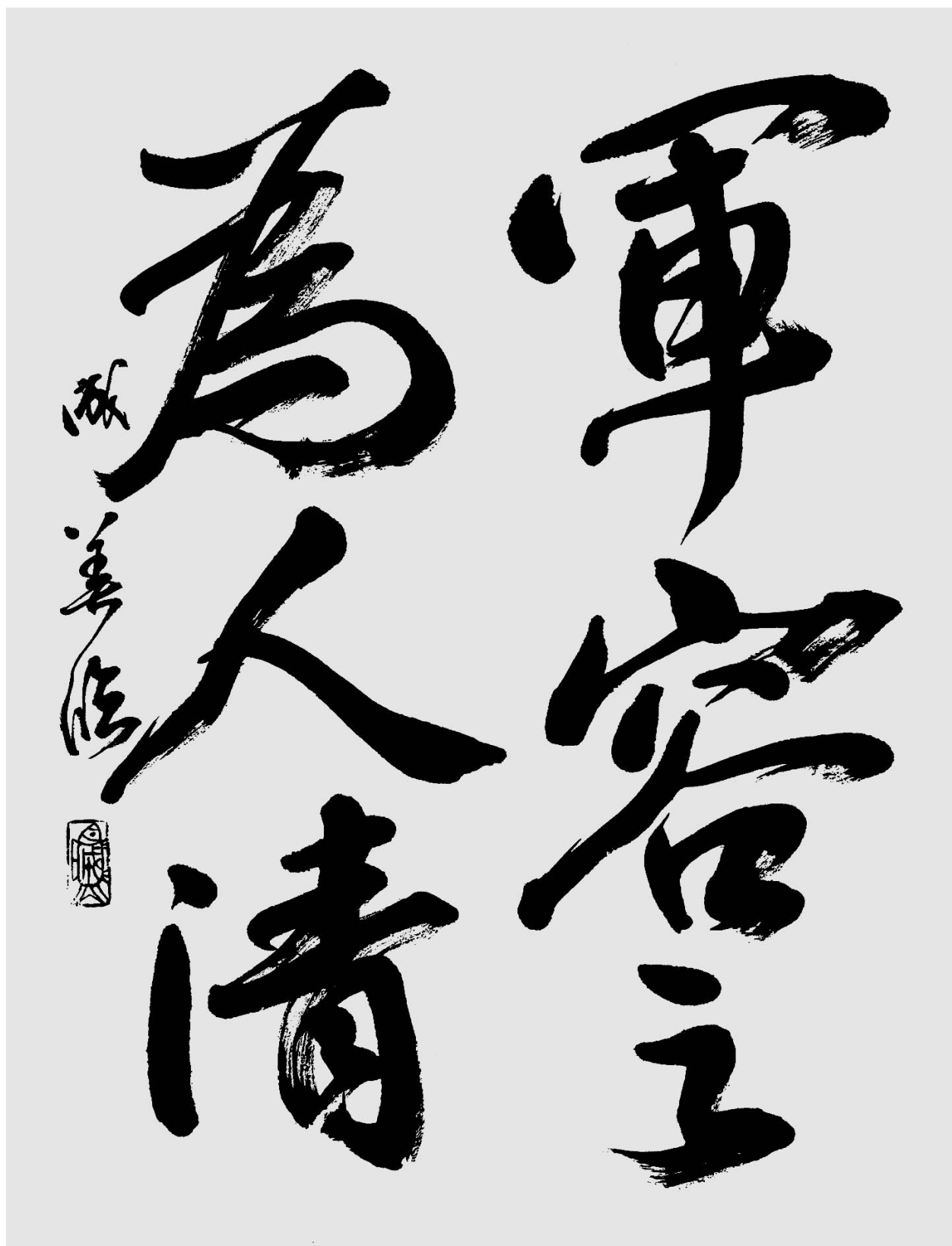


大坪桂子先生書

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点とする）

△臨書▽

流れを意識しながら、多墨で、文字に大小をつけ、動きのある作品に。



「軍容之爲人清」

吉田成美先生臨

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△住所表書き▽

北九州市八幡西区筒井町 中澤拓様 福岡市城南区別府 上野義一様
東京都あきる野市 小田綾子様 大阪府泉大津市 藤ひかり様

姓
号

北九州市八幡西区筒井町	福岡市城南区別府	東京都あきる野市	大阪府泉大津市
中澤拓様	上野義一様	小田綾子様	藤ひかり様

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△手紙文▽

慌ただしい年の暮となりました 今年もご一緒に新年を迎えられること 家族一同楽しみにしています
以前おいしーと言って下さった京都の生麴や湯葉を用意しました

慌ただしい年の暮となりました
今年もご一緒に新年を迎えらる
こと家族一同楽しみにしています
以前おいふと言ってお下さった京都
の生麴や湯葉を用意しました

伊良子 喜代先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

△暮らしに役立つ書▽

書 証

夕々の星座の美——のびんづす。
 この度は、結構なお品をお送り下さい、お
 誠にありがとうございます。お気持ち、喜んで
 頂戴いたしました。とはいえ、こちらもお族中
 でお世話になっておりますので、過分なお気遣い
 下さらぬように。
 時節柄、お風邪などお召しにならないよう
 ご自愛下さい。とり急ぎ、お礼とお慰めまで
 申し上げます。

野のある便箋に書いてみよう。

△26 cm × 18 cm▽

紙質は自由。

- この手本を書くのは十月です。なかなか十二月の頃の文章は難しいのですが、とにかく何より、心をこめて書くことを念じています。そうすると少しはリズムも生まれるか？などと思ってみます。

来年もまた皆様にとって良い年でありますように！

※ 本研究社にて「特選便箋」を発売しております。本誌裏面をご参照の上、ご利用ください。

小 畠 秋 聲 先 生 書

世界の子

小学4年

光るにじ

小学3年

よろこび

小学2年

ゆみ

ようねん・小学1年

(この課題以外の語句のものもよい。但し、その学年にふさわしい語句が望ましい。)

創造する喜び

中学2・3年

世界紀行

中学1年

希望の春

小学6年

強い信念

小学5年

秋永春霞先生書

〈条幅¼ 四尺画仙紙半折¼ : 68cm × 17・5cm〉

□ 体全体を使つて、のびやかに書きましょう。だく点も、鋒先をそろえて、ていねいに。

こよびろ

小学二年

次号予告「たこあげ」

□「ゆ」は、一画目と二画目の書き始める位置に気をつけましょう。「ハライ」はのびやかに。

ゆみ

ようねん・小学一年

次号予告「そり」

坂 元 紫 香 先 生 書

□ 線の方角や長短・空間のとり方に注意しながら、バランスよく、のびやかに書こう。

の世界

小学四年

次号予告「初日」

□「光」は画の接し方に注意し、ひらがなは懐の広さに気をつけ、明るい作品に心がけよう。

に光
じる

小学三年

次号予告「正月」

吉 田 成 美 先 生 書

小学五年

次号予告「早春の光」

強い信念

□「信」のつくりの横画の長さと巾に注意。また「念」は心と念のバランスをとりましよう。

小学六年

次号予告「幸福」

希望の春

□「希」は三画目のノの曲がり方に注意。また「望」は上部と下部の巾が難しいです。

小 畠 秋 聲 先 生 書

中学一年

次号予告「清新の気」

世界紀行

□一生懸命書こうとするとつい力が入りすぎます。気持ちをはなつかせ楽しく書こう。

中学二・三年

次号予告「理想の実現」(行書)

創造する喜び

□全体のバランスが難しい。平仮名は小さめに漢字はそれぞれの字形によく注意して書こう。

清 原 大 龍 先 生 書

ようねん・小学一年

段 級				
氏 名				
	が	み	っ	
		ん	て	エ
	大	な		ル
	す	は	い	フ
	き		な	を
	だ	エ	が	
	っ	ル	ら	し
	た。	フ		か

ナ
ナ
な
一ナ大

小学二年

段 級			
氏 名			
歌	ん	き	
を	が	な	歌
作			を
り	ま	す	作
ま	た	み	る
し	一	れ	の
た	つ	ち	が
。	、	や	す

はねないで下の
よこせんにつける
可 可 哥 哥 歌
（うた）

ノ
イ
仁
作
作
作

坂元紫香先生書

小学三年

[illegible]

ノ
一
一
气
気
氣
①はねる
十
土
寺
壺
壺
幸
(しあわ)
一
一
一
長
長
長
②たてせんを
さぎに
かく
③はねる

小学四年

[illegible]

上の横画より長い
 三本めの横画を長く書く
 よこせんのうちいちばんながい
 上のよこせんよりみじかい

吉田成美先生書

小学五年

[illegible]

小学六年

門とめる
 問はねる
 フ
 六
 六
 登上にはねる
 発
 一
 一
 一
 事つき出る
 事はねる

		幕らしが変わると、古い言葉は使われなくなりますが、複合語として使い続けられることもめずらしくありません。「衣がえ」「花ごよみ」など、今も使っているでしょう。
段 級		
氏 名		

小 畠 秋 聲 先 生 書

中
学

同じ話を聞く場合でも、目的によつて必要な情報が異なることがある。
翌日の天気を知りたいときと、一週間後の天気を知りたいときとでは、天気予報の聞き方も違ってくる。

一般 (A)

、
ノ
必^①
必^②
必^③
ハ
忪^④
忪^⑤
忪^⑥
情^⑦
情^⑧
土^⑨
吉^⑩
立^⑪
幸^⑫
報^⑬
報^⑭

[illegible]

小 畠 秋 聲 先 生 書